



## 2012年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2011年10月7日

上場会社名 ローツェ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 6323 URL <http://www.rorze.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崎谷 文雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 橋本 勲 (TEL) 084-960-0001  
 四半期報告書提出予定日 2011年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2012年2月期第2四半期の連結業績 (2011年3月1日～2011年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年2月期第2四半期	5,466	13.5	449	0.1	398	△18.4	154	△53.3
2011年2月期第2四半期	4,815	433.8	448	—	488	—	330	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2012年2月期第2四半期	9	20	9	01
2011年2月期第2四半期	19	69	19	28

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2012年2月期第2四半期	16,100		7,869		41.4	396	63	
2011年2月期	15,571		7,566		41.7	386	31	

(参考) 自己資本 2012年2月期第2四半期 6,667百万円 2011年2月期 6,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2011年2月期	—	0 00	—	2 00	2 00	0 00
2012年2月期	—	0 00	—	—	—	—
2012年2月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 2012年2月期の連結業績予想 (2011年3月1日～2012年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,260	△6.6	640	△44.7	586	△43.7	292	△52.4	17	39

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2012年2月期2Q	17,640,000株	2011年2月期	17,640,000株
2012年2月期2Q	828,218株	2011年2月期	850,218株
2012年2月期2Q	16,795,043株	2011年2月期2Q	16,789,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の影響から徐々に持ち直しの傾向が見られるものの、欧州や米国の信用力低下に伴う歴史的な円高の進行や長期化等によって株式市場の低迷が続く中、先行き不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末などの需要が拡大する一方、パソコンや液晶テレビの販売が一段落する中、国内、台湾、韓国等における設備投資が継続して行われました。

このような状況の中で当社グループは、国内、台湾、韓国等の取引先からの受注に対応し、ウエハソータ、EFEM等のウエハ搬送装置や、有機EL用及び液晶ガラス基板用のガラスカッティングマシン(GCM)、大型液晶ガラス基板搬送装置等の納入を行いました。これにより連結売上高は、前年同期比で、ウエハ搬送機が12.8%、ガラス基板搬送機が3.8%、それぞれ増加しました。

損益面につきましては、歴史的な円高の進行と長期化の影響により、グローバル化する市場での受注獲得競争激化に加え、新規開発を伴う装置の受注に対応するための販管費増加等により、厳しい状況が続きました。このような状況の中で当社グループは、ベトナム生産子会社での量産対応や台湾・韓国での現地生産体制の強化等により、利益確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,466百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益449百万円(前年同期比0.1%増)、経常利益398百万円(前年同期比18.4%減)、四半期純利益154百万円(前年同期比53.3%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ529百万円増加し、16,100百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加827百万円、受取手形及び売掛金の増加510百万円及び現金及び預金の減少729百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、8,231百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加354百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ303百万円増加し、7,869百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加123百万円及び少数株主持分の増加118百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2011年4月8日付の「2011年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2012年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ312千円、税金等調整前四半期純利益は9,159千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18,134千円であります。

#### ② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,215	1,917,529
受取手形及び売掛金	3,439,875	2,928,988
商品及び製品	483,030	480,530
仕掛品	2,708,150	2,306,405
原材料及び貯蔵品	1,687,722	1,264,808
繰延税金資産	186,306	176,519
その他	204,132	170,491
貸倒引当金	△51,655	△42,575
流動資産合計	9,845,777	9,202,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,353,645	2,374,128
土地	2,349,997	2,330,639
その他(純額)	614,027	618,307
有形固定資産合計	5,317,670	5,323,075
無形固定資産	223,844	239,529
投資その他の資産		
投資有価証券	240,408	283,174
繰延税金資産	268,675	304,897
その他	205,298	219,721
貸倒引当金	△896	△1,468
投資その他の資産合計	713,487	806,326
固定資産合計	6,255,002	6,368,931
資産合計	16,100,779	15,571,630

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,438,880	1,084,679
短期借入金	3,420,216	3,256,282
未払法人税等	81,455	119,379
賞与引当金	97,549	46,211
役員賞与引当金	3,000	—
製品保証引当金	268,687	237,153
その他	656,671	845,191
流動負債合計	5,966,460	5,588,897
固定負債		
長期借入金	1,820,715	1,991,123
繰延税金負債	68,544	58,262
退職給付引当金	43,321	48,182
役員退職慰労引当金	310,258	314,183
資産除去債務	18,314	—
その他	3,604	4,675
固定負債合計	2,264,757	2,416,426
負債合計	8,231,218	8,005,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,129,759	1,127,755
利益剰余金	6,090,138	5,966,896
自己株式	△123,310	△126,585
株主資本合計	8,079,362	7,950,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,658	33,968
為替換算調整勘定	△1,424,030	△1,498,723
評価・換算差額等合計	△1,411,371	△1,464,754
新株予約権	30,744	27,755
少数株主持分	1,170,826	1,052,465
純資産合計	7,869,561	7,566,306
負債純資産合計	16,100,779	15,571,630

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	4,815,811	5,466,358
売上原価	3,523,711	3,976,695
売上総利益	1,292,099	1,489,663
販売費及び一般管理費	843,516	1,040,643
営業利益	448,582	449,019
営業外収益		
受取利息	5,610	5,598
受取配当金	535	115
為替差益	8,657	—
補助金収入	48,023	6,490
その他	10,153	5,742
営業外収益合計	72,980	17,946
営業外費用		
支払利息	28,736	25,146
為替差損	—	39,278
その他	4,312	3,877
営業外費用合計	33,048	68,301
経常利益	488,514	398,664
特別利益		
投資有価証券売却益	5,513	362
関係会社株式売却益	32,302	—
持分変動利益	13,488	—
新株予約権戻入益	—	854
特別利益合計	51,304	1,216
特別損失		
有形固定資産売却損	—	897
有形固定資産除却損	107	483
投資有価証券売却損	6,654	5,469
ゴルフ会員権評価損	2,996	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,847
特別損失合計	9,758	15,697
税金等調整前四半期純利益	530,060	384,183
法人税、住民税及び事業税	112,486	188,666
法人税等調整額	10,852	△30,642
法人税等合計	123,339	158,023
少数株主損益調整前四半期純利益	—	226,159
少数株主利益	76,104	71,713
四半期純利益	330,616	154,446



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社グループは、無塵化対応搬送用ロボットやその応用装置を開発・製造・販売している単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

(1) 生産実績

品目別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	3,203,511	113.2
ガラス基板搬送機	807,893	109.0
モータ制御機器	37,969	119.1
合計	4,049,374	110.7

(注) 1 金額は、製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

モータ制御機器については見込生産によっておりますが、ウエハ搬送機、ガラス基板搬送機、及びバイオ・ゲノム関連装置につきましては、受注生産を行っております。  
ウエハ搬送機及びガラス基板搬送機の受注状況は次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	3,791,065	101.0	2,674,653	123.3
ガラス基板搬送機	1,520,867	128.9	617,719	846.5
バイオ・ゲノム関連装置	4,660	27.2	4,660	28.4
合計	5,316,592	107.4	3,297,033	146.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

品目別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	3,321,819	112.8
ガラス基板搬送機	1,318,431	103.8
モータ制御機器	49,667	87.6
部品・修理 他	766,528	144.4
商品	9,912	87.5
合計	5,466,358	113.5

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三星電子株	1,172,379	24.3	868,856	15.9
台湾セミコンダクター・マニユファクチャリング・カンパニー・リミテッド	607,782	12.6	—	—

(注)台湾セミコンダクター・マニユファクチャリング・カンパニー・リミテッドに対する当第2四半期連結累計期間の売上高は、485,016千円(総販売実績に対する割合8.9%)であります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。